

対象年度	H16	作成部課室	土木部土木総務課	関係部課室	土木部道路課, 企画部総合交通対策課
------	-----	-------	----------	-------	--------------------

A - 1 - 1 政策と施策の関係・施策の体系:規則 § 6 1号関連

政策番号	4-10-2	政策名	国内の交流を進めるための交通基盤の整備
------	--------	-----	---------------------

政策概要	国内の広域的な交流や物流が活発に行えるよう、道路や公共交通等のネットワーク化を目指します。
------	---

施策番号	施策名	政策評価指標
	施策概要	
1	<p>高速道路の整備</p> <p>県内各地と仙台空港や仙台国際貿易港等の拠点施設、県内外の中心都市、首都圏とを結び、人やモノが速く、安全に、行き来できるようにするため、高速道路を整備します。</p>	<p>・高速道路IC40分間交通圏カバー率</p>
2	<p>国道、県道、市町村道の整備</p> <p>県内の各地域相互や、各地域と高速道路ネットワークを有機的に結び、県内各地域の連携の強化等を図るため、国道、県道、市町村道を整備します。</p>	<p>・高速道路IC40分間交通圏カバー率</p> <p>・道路の改良率</p>
3	<p>バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備</p> <p>誰もが通勤、通学、通院、買い物などが容易にできるよう、バスや鉄道などの公共交通機関のネットワーク化を目指します。</p>	
4	<p>各輸送機関相互の連携の強化</p> <p>人やモノが各種の移動手段を適切に乗り継ぐことにより環境にもやさしく円滑かつ迅速に移動できるような社会を実現するために、各輸送機関相互の連携を強化します。</p>	

A - 1 - 2 県民満足度(政策)の推移:規則 § 6 1号関連

(単位:点)

	第1回(H13)	第2回(H14)	第3回(H15)	第4回(H16)	
重視度(中央値) A	75	76	76	77	
満足度(中央値) B	60	60	60	60	
かい離 A-B 【かい離度】	15 【中】	16 【中】	16 【中】	17 【中】	

かい離:極めて高い(40点以上),非常に高い(30点以上~40点未満),高い(20点以上~30点未満),中(10点以上~20点未満),低い(10点未満)

A - 1 施策群設定の妥当性:規則 § 6 1号

適切	概ね適切	課題有
----	------	-----

<p>A-1-1</p> <p>【政策目的に沿った施策か】 おおむね適切 ・各施策の概要は上記記載のとおりであり、政策を実現するためには4施策すべてが必要と認められる。</p> <p>【施策の重複・矛盾点の有無】 適切 ・施策の重複はない。</p> <p>A-1-2, A-1-3</p> <p>【県民満足度・社会経済情勢から見て必要か】 適切 ・政策重視度が徐々に高くなってきており、県民は本政策を必要と感じている。施策毎では、社会経済情勢や施策満足度等の結果から全ての施策の必要性が高いことが認められる。</p>
--

A - 1 - 3 一般県民満足度の推移と社会経済情勢(施策毎):規則 § 6 1号関連

施策番号	一般県民満足度調査結果(施策)			社会経済情勢に適合した施策か	必要性総括
	優先度(直近の3回)	県民が必要と感じているか( )			
1	第4回	9.9%	4位	・本県では高速道路は一定程度整備されているが、一部地域においては現在整備中であり、県土の均衡ある発展には欠かせないため、今後も重点的に取り組んでいく必要がある。 ・県民に身近な施策であり、その重要性は変わらない。 ・未だ整備の必要な箇所も多いが、県全体で見ると、一定の水準は確保されており、今後は優先順位の高い箇所の整備や、道路ネットワーク化にシフトしつつ、これまで同様継続的に取り組んでいく必要がある。 ・自家用自動車利用の増加や少子高齢化による利用者減少により、公共交通を取り巻く環境は悪化している。 ・仙台都市圏においては、公共交通の利用を促進させるパークアンドライド等のTDM施策が推進されている。 ・県内各地において、新たなバス運行等の地域の交通基盤やニーズに応じた交通施策が取り組まれている。 ・高齢化の進展に伴い、独自の移動手段を持たない人の移動手段の確保が課題となることから、公共交通の充実が必要な施策であり、今後とも重点的に取り組んでいく必要がある。 ・施策3と一体となり、交通ネットワーク機能の充実に資する施策である。 ・各公共交通間の連携を強化し、公共交通の利用促進につなげるため必要な施策であり、継続的に取り組んでいく必要がある。	大
	第3回	10.7%	4位		
	第2回	10.2%	4位		
2		50.2%	1位		・本施策の優先度は4施策中1位である。 ・本施策のかい離は20点と高い。 【結論】 必要性:かなり感じている
		51.5%	1位		
		51.5%	1位		
3		25.8%	2位	・本施策の優先度は4施策中2位である。 ・本施策のかい離は21点と高い。 【結論】 必要性:かなり感じている	
		24.5%	2位		
		26.1%	2位		
4		12.5%	3位		・本施策の優先度は4施策中3位である。 ・本施策のかい離は21点と高い。 【結論】 必要性:ある程度感じている
		12.6%	3位		
		11.1%	3位		

必要性のランク【結論】:非常に感じている > かなり感じている > ある程度感じている > 比較的感じていない > あまり感じていない

A - 2 政策評価指標群の妥当性:規則 § 6 2号

適切 概ね適切 課題有

【施策の有効性を評価する上で適切か】 おおむね適切  
 ・2指標とも適切であり今後も継続する。「政策評価指標分析カード」から  
 【重視すべき施策に指標が設定されているか】 適切  
 ・施策1, 施策2には指標が設定されており, 施策3, 施策4についても指標の設定を検討している。

A - 3 施策群の有効性:規則 § 6 3号

評価シート(B) A-3-1「施策の有効性」から

有効 概ね有効 課題有

視 点	政策全体	施策1	施策2				
政策評価指標達成度	有効	有効	有効				
県民満足度	有効	有効	有効				
社会経済情勢	有効	有効	有効				
全 体	有効	有効	有効				

A 政策評価(総括):規則 § 6

適切 概ね適切 課題有

・当該政策に関し, 施策群設定の妥当性(A-1), 政策評価指標群の妥当性(A-2), 施策群の有効性(A-3)を総合的に検証した結果, 「おおむね適切」と判断する。

対象年度 H16

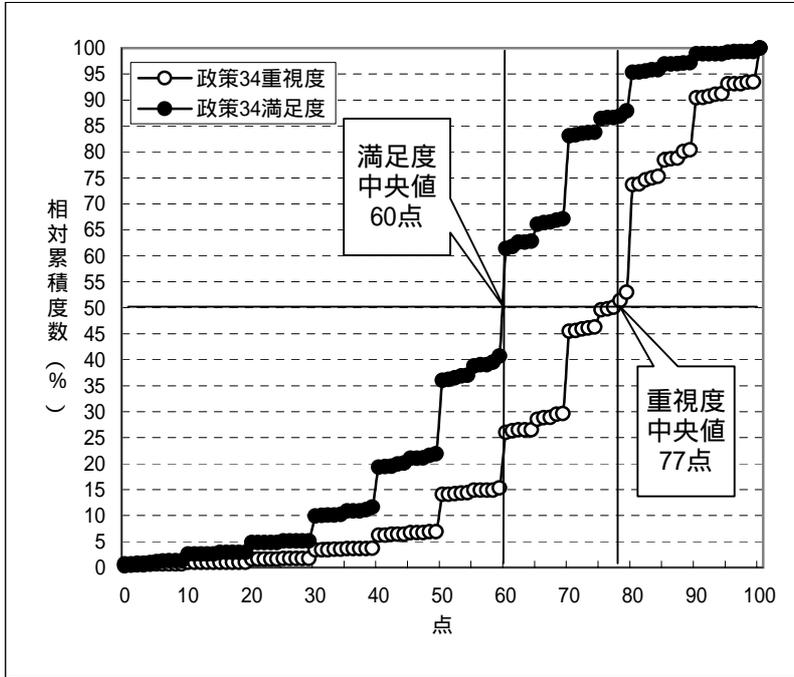
政策番号 4-10-2

政策名 国内の交流を進めるための交通基盤の整備

(1) 一般県民満足度調査結果

高関心度 64.1

高認知度 54.7



**高関心度**  
「政策」の内容に対する関心の高さを示す数値であり、満足度調査の関心度に関する設問中「関心があった」、「ある程度関心があった」を選択した回答者の全回答者に対する割合

**高認知度**  
「政策」の内容について知っている度合いの高さを示す数値であり、満足度調査の認知度に関する設問中「知っていた」、「ある程度知っていた」を選択した回答者の全回答者に対する割合

基本統計量						
全県						
項目	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
中央値	77	80	80	60	60	60
第1四分位	-	-	-	50	50	56
第3四分位	-	-	-	70	70	70
四分偏差	-	-	-	10	10	7

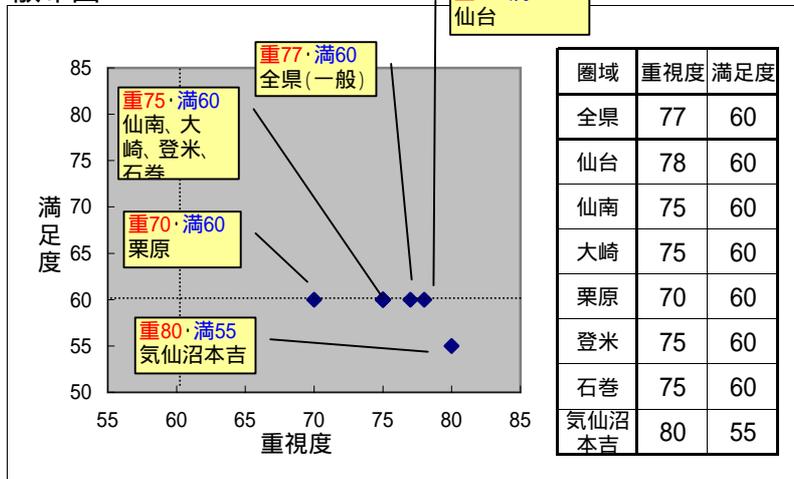
  

圏域別中央値(一般、市町村のみ)						
圏域	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
全県	77	80	80	60	60	60
仙台	78	75	-	60	60	-
仙南	75	78	-	60	60	-
大崎	75	75	-	60	60	-
栗原	70	70	-	60	60	-
登米	75	80	-	60	60	-
石巻	75	80	-	60	60	-
気仙沼本吉	80	90	-	55	50	-

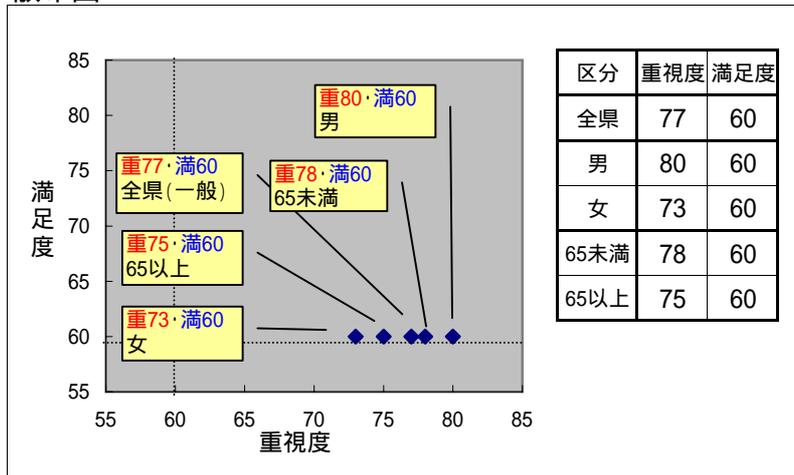
  

男女別・年代別中央値(一般のみ)						
区分	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
全県	77	80	80	60	60	60
男	80	-	-	60	-	-
女	73	-	-	60	-	-
65未満	78	-	-	60	-	-
65以上	75	-	-	60	-	-

散布図



散布図



対象年度 H16

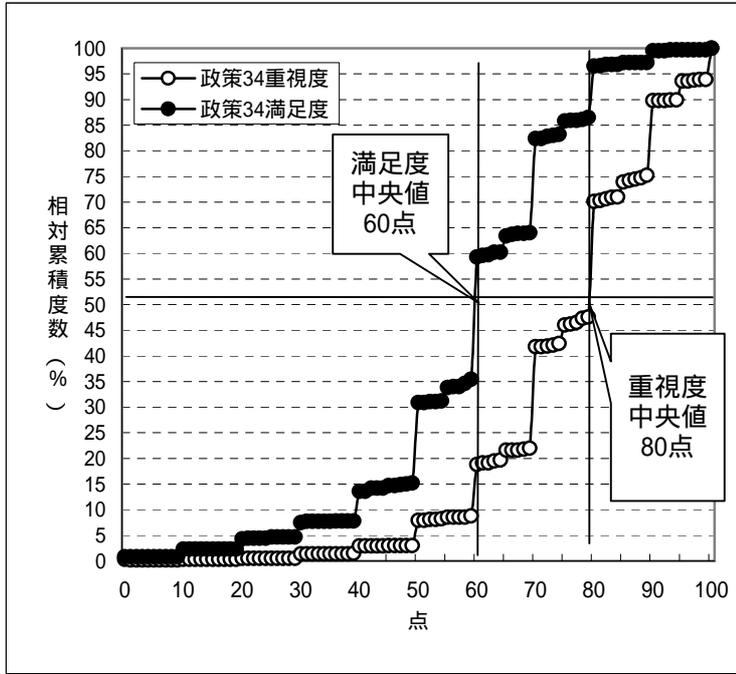
政策番号 4-10-2

政策名 国内の交流を進めるための交通基盤の整備

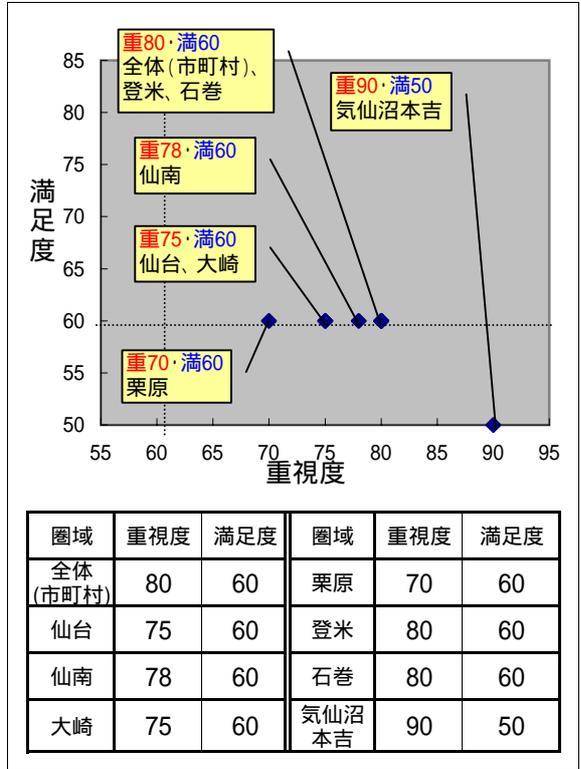
(2) 有識者(市町村) 県民満足度調査結果

高関心度 74.7

高認知度 71.8



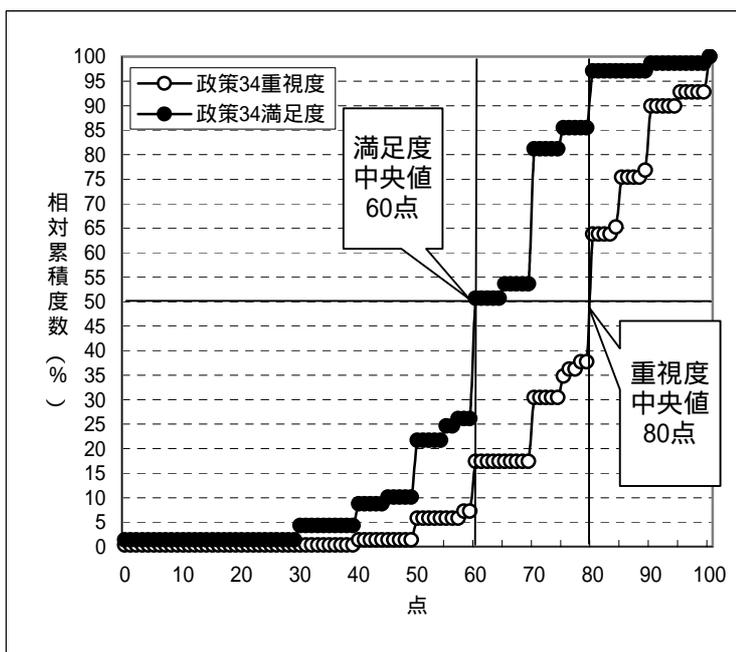
散布図



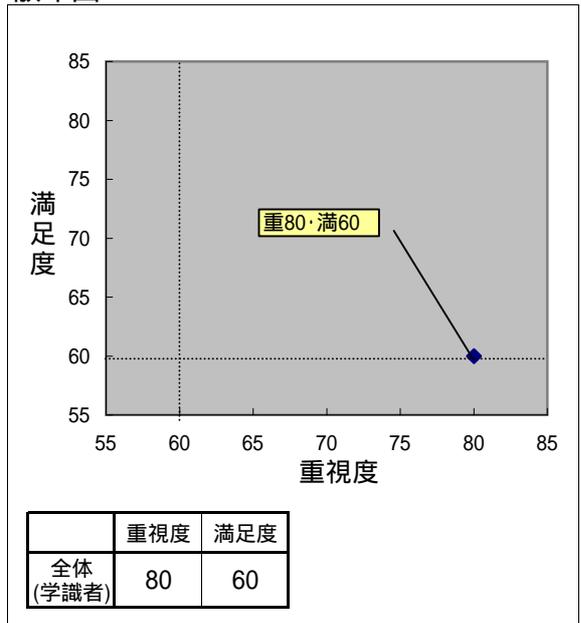
(3) 有識者(学識者) 県民満足度調査結果

高関心度 86.9

高認知度 79.7



散布図

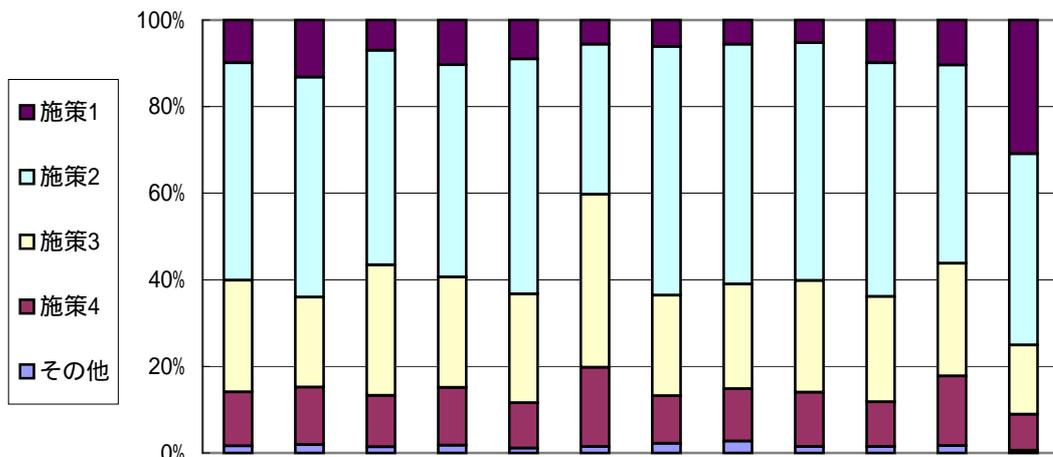


対象年度 H16

政策番号 4-10-2

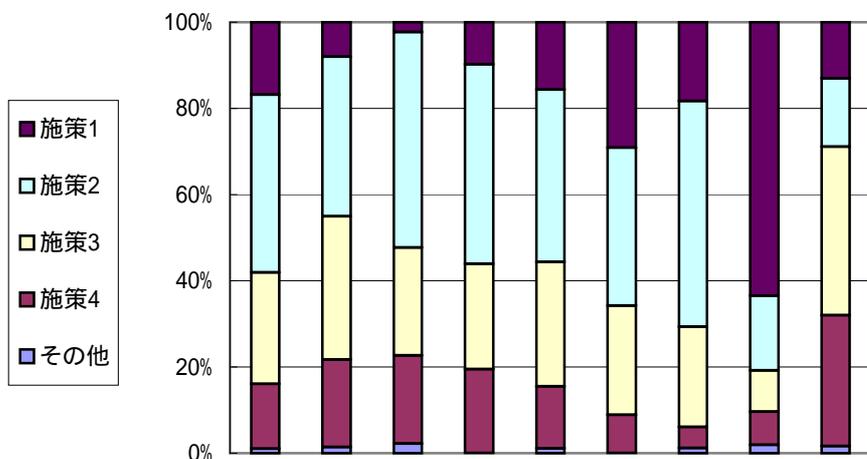
政策名 国内の交流を進めるための交通基盤の整備

(4) 一般県民満足度結果(施策別・優先度1位割合)



施策番号	施策名	全体	男	女	65未満	65以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉
施策1	高速道路の整備	9.9	13.2	7.0	10.3	9.0	5.6	6.1	5.6	5.2	9.9	10.4	30.9
施策2	国道、県道、市町村道の整備	50.2	50.8	49.6	49.1	54.3	34.7	57.5	55.4	55.0	54.0	45.8	44.2
施策3	バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備	25.8	20.8	30.1	25.5	25.1	39.9	23.2	24.2	25.8	24.3	26.0	16.0
施策4	各輸送機関相互の連携の強化	12.5	13.3	11.9	13.3	10.5	18.3	11.0	12.1	12.5	10.3	16.1	8.3
	その他	1.6	1.9	1.4	1.8	1.1	1.5	2.2	2.7	1.5	1.5	1.7	0.6

(5) 有識者(市町村・学識者)県民満足度結果(施策別・優先度1位割合)



施策番号	施策名	市町村優先度								学識者 優先度
		全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉	
施策1	高速道路の整備	16.8	8.0	2.3	9.8	15.6	29.1	18.3	63.5	13.0
施策2	国道、県道、市町村道の整備	41.3	37.0	50.0	46.3	40.0	36.7	52.4	17.3	15.9
施策3	バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備	25.8	33.3	25.0	24.4	28.9	25.3	23.2	9.6	39.1
施策4	各輸送機関相互の連携の強化	15.1	20.3	20.5	19.5	14.4	8.9	4.9	7.7	30.4
	その他	1.0	1.4	2.2	0.0	1.1	0.0	1.2	1.9	1.6